

資料の”英語版同期”により役員会議の一体感が増幅した「オリンパス様」の事例

この事例では、グローバル化に伴い外国人役員が急増したため、日本語と英語の2種類の資料が存在し、「どのページを説明しているのか分からない」という問題が増加していました。さらに、海外からの役員会議への参加にはVPN経由で接続していたため、回線状況によっては接続に手間や時間がかかり、会議の開始時間が遅れることもありました。そのため、経営会議の長時間化や事前準備に伴う大きな事務負担も課題として挙がっていました。

本事例では、このような課題に対して、ConforMeetingを活用してどのように解決したかを紹介しています。

同様の課題を抱えている場合は、この事例を参考にいただくと幸いです。

目次

事例の概要

課題背景

成果

導入ソリューション

事例の詳細

導入前の背景や課題

選択のポイント

導入後の成果

NEC 担当スタッフの声

[この資料を申し込みする >>](#)